

ダイワ・スイス 高配当株ツインα (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第59期(決算日 2019年1月17日)
第60期(決算日 2019年2月18日)
第61期(決算日 2019年3月18日)
第62期(決算日 2019年4月17日)
第63期(決算日 2019年5月17日)
第64期(決算日 2019年6月17日)

(作成対象期間 2018年12月18日～2019年6月17日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式		
信 託 期 間	約10年間（2013年12月18日～2023年12月15日）		
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主 要 投 資 象 対	当 ファ ン ド	イ．ケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券	
	ダ イ ワ ・ マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券	
組 入 制 限	当 ファ ン ド の 投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マ ザ ー フ ァ ン ド の 株 式 組 入 上 限 比 率	純資産総額の10%以下	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、配当利回りの高いスイス株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			スイス SMI 指数 (円換算)		スイス・フラン 為 替 レ ー ト		公 社 債 入 率 組 比	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 額 総
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 騰 落 率 中	(参考指数)	期 騰 落 率 中	(参考指数)	期 騰 落 率 中			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
35期末(2017年1月17日)	7,268	110	1.2	10,372	0.1	112.88	△ 1.5	0.0	98.3	30,996
36期末(2017年2月17日)	7,354	110	2.7	10,578	2.0	113.70	0.7	0.0	98.8	30,279
37期末(2017年3月17日)	7,383	110	1.9	10,846	2.5	113.89	0.2	0.0	98.7	29,422
38期末(2017年4月17日)	7,124	110	△ 2.0	10,225	△ 5.7	107.84	△ 5.3	0.0	98.3	27,916
39期末(2017年5月17日)	7,579	110	7.9	11,476	12.2	114.43	6.1	0.0	98.7	29,212
40期末(2017年6月19日)	7,475	110	0.1	11,229	△ 2.2	114.02	△ 0.4	0.0	98.4	29,065
41期末(2017年7月18日)	7,527	110	2.2	11,602	3.3	116.82	2.5	—	98.6	30,325
42期末(2017年8月17日)	7,238	110	△ 2.4	11,314	△ 2.5	113.93	△ 2.5	—	98.5	30,089
43期末(2017年9月19日)	7,272	110	2.0	11,530	1.9	115.98	1.8	—	98.4	31,561
44期末(2017年10月17日)	7,277	110	1.6	11,714	1.6	114.95	△ 0.9	—	98.5	33,855
45期末(2017年11月17日)	7,117	110	△ 0.7	11,431	△ 2.4	113.74	△ 1.1	—	98.2	34,235
46期末(2017年12月18日)	7,139	110	1.9	11,732	2.6	113.65	△ 0.1	—	98.4	34,727
47期末(2018年1月17日)	7,230	110	2.8	11,982	2.1	115.23	1.4	—	98.4	35,831
48期末(2018年2月19日)	6,789	110	△ 4.6	11,316	△ 5.6	114.60	△ 0.5	—	98.9	33,811
49期末(2018年3月19日)	6,513	110	△ 2.4	10,843	△ 4.2	111.10	△ 3.1	—	98.6	33,029
50期末(2018年4月17日)	6,403	110	0.0	10,694	△ 1.4	111.53	0.4	—	98.6	32,857
51期末(2018年5月17日)	6,417	110	1.9	10,868	1.6	110.22	△ 1.2	—	98.6	33,270
52期末(2018年6月18日)	6,274	75	△ 1.1	10,526	△ 3.1	110.85	0.6	—	98.9	32,695
53期末(2018年7月17日)	6,244	75	0.7	10,964	4.2	112.78	1.7	—	99.0	32,380
54期末(2018年8月17日)	6,205	75	0.6	10,989	0.2	111.15	△ 1.4	—	98.7	32,285
55期末(2018年9月18日)	6,326	75	3.2	11,400	3.7	116.10	4.5	—	98.8	32,637
56期末(2018年10月17日)	5,900	75	△ 5.5	10,966	△ 3.8	113.48	△ 2.3	—	99.7	29,862
57期末(2018年11月19日)	5,818	75	△ 0.1	11,035	0.6	112.75	△ 0.6	—	98.8	29,325
58期末(2018年12月17日)	5,731	75	△ 0.2	10,887	△ 1.3	113.71	0.9	—	98.7	28,716
59期末(2019年1月17日)	5,541	75	△ 2.0	10,727	△ 1.5	110.02	△ 3.2	—	98.9	27,699
60期末(2019年2月18日)	5,551	75	1.5	11,183	4.2	110.12	0.1	—	98.2	27,534
61期末(2019年3月18日)	5,667	40	2.8	11,599	3.7	111.32	1.1	—	98.7	27,758
62期末(2019年4月17日)	5,762	40	2.4	11,707	0.9	111.22	△ 0.1	—	98.4	26,690
63期末(2019年5月17日)	5,575	40	△ 2.6	11,554	△ 1.3	108.85	△ 2.1	—	98.8	25,311
64期末(2019年6月17日)	5,630	40	1.7	11,769	1.9	108.77	△ 0.1	—	98.9	24,482

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) スイス SMI 指数 (円換算) は、スイス SMI 指数 (スイス・フランベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

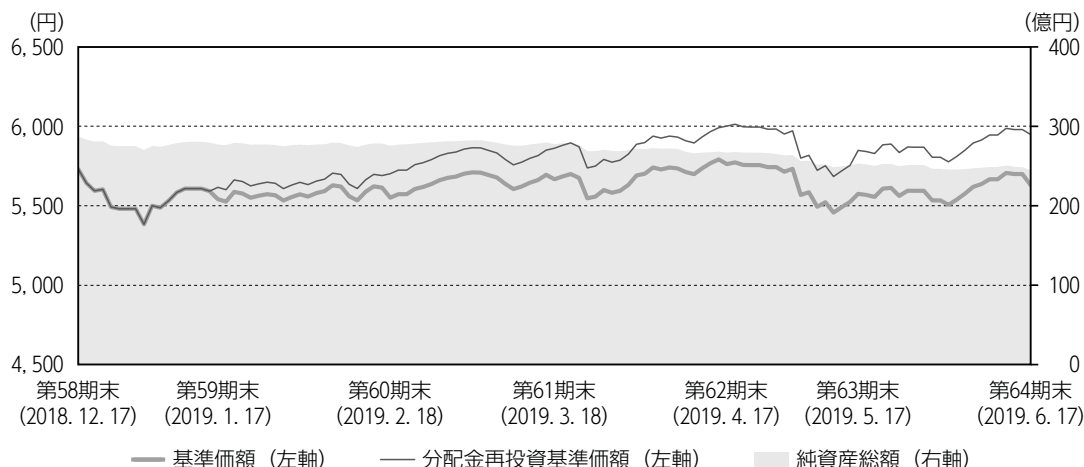
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第59期首：5,731円

第64期末：5,630円（既払分配金310円）

騰落率：3.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドの上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドについては、スイス株式への投資と株価指数および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、スイス・フランが対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、株式が上昇したことがプラスに寄与し、上昇しました。一方、オプション取引については、通貨のオプションがプラスに寄与し、株価指数オプションがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		スイスSMI指数 (円換算)		スイス・フラン 為 替 レ ー ト		公 社 債 組 入 率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第59期	(期 首) 2018年12月17日	円 5,731	% —	10,887	% —	円 113.71	% —	% —	% 98.7
	12月末	5,383	△ 6.1	10,135	△ 6.9	112.55	△ 1.0	—	98.4
	(期 末) 2019年1月17日	5,616	△ 2.0	10,727	△ 1.5	110.02	△ 3.2	—	98.9
第60期	(期 首) 2019年1月17日	5,541	—	10,727	—	110.02	—	—	98.9
	1月末	5,572	0.6	10,806	0.7	109.69	△ 0.3	—	98.4
	(期 末) 2019年2月18日	5,626	1.5	11,183	4.2	110.12	0.1	—	98.2
第61期	(期 首) 2019年2月18日	5,551	—	11,183	—	110.12	—	—	98.2
	2月末	5,684	2.4	11,463	2.5	110.84	0.7	—	98.4
	(期 末) 2019年3月18日	5,707	2.8	11,599	3.7	111.32	1.1	—	98.7
第62期	(期 首) 2019年3月18日	5,667	—	11,599	—	111.32	—	—	98.7
	3月末	5,594	△ 1.3	11,524	△ 0.6	111.51	0.2	—	99.0
	(期 末) 2019年4月17日	5,802	2.4	11,707	0.9	111.22	△ 0.1	—	98.4
第63期	(期 首) 2019年4月17日	5,762	—	11,707	—	111.22	—	—	98.4
	4月末	5,714	△ 0.8	11,672	△ 0.3	109.58	△ 1.5	—	98.9
	(期 末) 2019年5月17日	5,615	△ 2.6	11,554	△ 1.3	108.85	△ 2.1	—	98.8
第64期	(期 首) 2019年5月17日	5,575	—	11,554	—	108.85	—	—	98.8
	5月末	5,534	△ 0.7	11,392	△ 1.4	108.66	△ 0.2	—	99.3
	(期 末) 2019年6月17日	5,670	1.7	11,769	1.9	108.77	△ 0.1	—	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 12. 18 ~ 2019. 6. 17)

■ スイス株式市況

スイス株式市場は上昇しました。

当作成期の序盤は、世界経済の減速懸念やF R B（米国連邦準備制度理事会）の2019年の利上げ見通しが予想ほど金融緩和的ではなかったことなどが嫌気され、世界的に株式市場が大幅に下落し、スイス株式市場も連れて下落で始まりました。しかし2019年1月に入り、米中通商協議の進展期待や中国政府による景気下支え策の発表、また米国の利上げ休止観測などを背景に投資家の過度なリスク回避姿勢が後退したため、スイス株式市場は反発に転じました。その後も、中国経済の底打ち観測や米国株式市場の堅調な推移などを支えに、スイス株式市場はおおむね上昇基調で推移しました。5月に入り、米中貿易摩擦の悪化懸念などから世界的に株式市場が下落する中、スイス株式市場も弱含む局面がありましたが、当作成期首を上回る水準で当作成期末を迎えました。

■ スイス株価指数オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティ（予想変動率）は低下しました。

当作成期首16%台でスタートしたインプライド・ボラティリティは、世界経済の減速懸念などを背景に世界的な株安が進み、リスク回避姿勢が強まったことから急上昇しました。その後は、米国の利上げ休止観測や底堅いスイス株式市場の動きに伴い、インプライド・ボラティリティは落ち着きを取り戻して低下に転じ、おおむね緩やかな低下基調で推移しました。2019年5月に入り、米中貿易摩擦の再燃を受けてリスク回避の動きが強まったことから、インプライド・ボラティリティは再び上昇しました。その後、過度な懸念が後退するに連れインプライド・ボラティリティは低下し、11%台の水準で当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

スイス・フランの対円為替レートは下落しました。

当作成期の序盤は、世界経済の減速懸念や世界的な株安の進行などを背景にリスク回避の円買いが強まり、スイス・フランは対円で下落しました。2019年1月に入ると、米国の雇用統計の改善や米中通商協議の進展期待などを背景とした投資家心理の改善に伴い、スイス・フランは反発しましたが、4月上旬にかけて方向感の乏しい展開となりました。4月中旬以降は、相次ぐスイス中央銀行高官による、スイス・フラン高の抑制を目的としたマイナス金利継続を示唆する発言報道に加え、5月に入り米中貿易摩擦の激化懸念などからリスク回避の円買いの動きが生じ、スイス・フランは円に対し下落しました。当作成期末にかけても上値は重く、当作成期首より円高スイス・フラン安の水準で当作成期末を迎えました。

■スイス・フラン／円為替オプション市況

期間1カ月アット・ザ・マネーのインプライド・ボラティリティは小幅に低下しました。

当作成期首5%台後半でスタートしたインプライド・ボラティリティは、急速な円高進行などを受けて急上昇しました。当作成期中盤は、おおむね安定した動きで推移しました。終盤に入り、米中通商交渉の難航を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、インプライド・ボラティリティは上昇に転じました。当作成期末にかけて低下した結果、5%台前半で当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態では、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

米国経済は、トランプ大統領の政策運営をめぐる不透明感が懸念されるものの、旺盛な内需に支えられており、FRB（米国連邦準備制度理事会）は緩やかながらも着実なペースで利上げを進めています。欧州では、ユーロ圏の製造業PMI（購買担当者景気指数）が高水準で安定推移するなど、景気回復の兆しが顕在化しています。失業率は低下傾向にあり、今後、消費者信頼感を支えると思込まれます。ECB（欧州中央銀行）が緩和的な金融政策を継続していることも、景気を後押しすると予想されます。一方、英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感が企業景況感に与える影響などに留意しています。

スイス経済は、輸出産業が世界的な景気回復の恩恵を受けているほか、国内消費も引き続き堅調です。スイス・フランの動向は、スイス企業の業績にプラスに作用すると予想しています。また、企業景況感の改善傾向や企業の潤沢な手元資金を背景に、M&A（企業の合併・買収）の動きは継続すると予想されます。スイス株式市場は、バリュエーション、企業業績、配当成長の観点から引き続き魅力があると考えます。市場の悪材料に反応した調整局面も想定されますが、そうした調整局面は、長期的な視点から魅力的な銘柄を組み入れる好機になると捉えています。今後も、企業価値が株価に十分に反映されていない銘柄などに注目しながら、投資妙味の高い銘柄の組み入れに焦

点を当てていく方針です。

スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアム（※）の確保をめざします。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプション（買う権利）の売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行います。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざします。

※オプションの買い手が売り手に支払う対価

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2018. 12. 18 ～ 2019. 6. 17）

■当ファンド

UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資しました。UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

業種構成は、当ファンドの現物株式ポートフォリオのベンチマークであるS P I（スイス・パフォーマンス指数）に対して、金融などをオーバーウエートで推移させた一方で、生活必需品などをアンダーウエートで推移させました。個別銘柄では、SONOVA、STADLER RAIL、SWISS LIFEなどをオーバーウエートで推移させた一方で、CREDIT SUISSE、LINDT、NESTLEなどをアンダーウエートで推移させました。

スイス株式への投資に加えて、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略の活用により、オプションプレミアムの確保をめざしました。株式カバードコール戦略ではスイス株価指数のコール・オプションの売りを、通貨カバードコール戦略では円に対するスイス・フランのコール・オプションの売りを行いました。いずれのオプションも、カバー率をファンドが保有するスイス・フラン建資産の評価額に対して50%程度とすることにより、株式の値上がり益、スイス・フランの円に対する値上がり益の部分的な追求をめざしました。

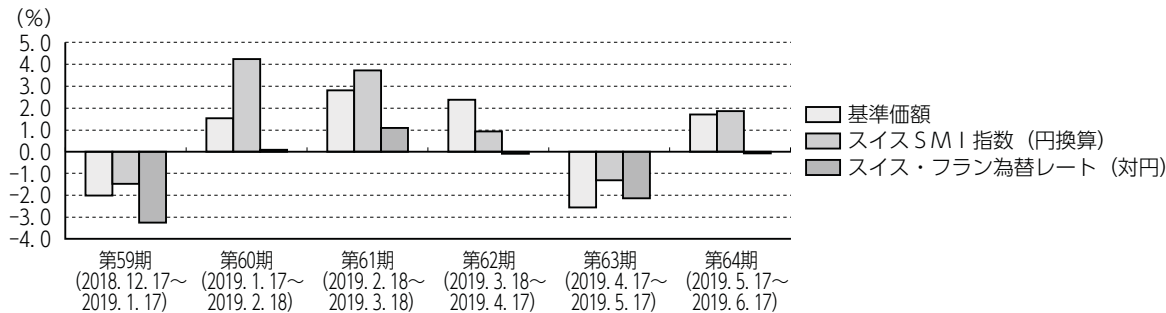
■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	2018年12月18日 ～2019年1月17日	2019年1月18日 ～2019年2月18日	2019年2月19日 ～2019年3月18日	2019年3月19日 ～2019年4月17日	2019年4月18日 ～2019年5月17日	2019年5月18日 ～2019年6月17日
当期分配金(税込み) (円)	75	75	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	1.34	1.33	0.70	0.69	0.71	0.71
当期の収益 (円)	39	54	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	35	20	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	164	144	151	163	190	263

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 39.14円	✓ 54.09円	✓ 46.42円	✓ 52.11円	✓ 66.95円	✓ 113.33円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 200.79	✓ 165.37	144.69	144.83	144.94	145.48
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	6.37	18.44	45.13
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	239.94	219.47	191.12	203.33	230.34	303.95
(f) 分配金	75.00	75.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	164.94	144.47	151.12	163.33	190.34	263.95

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。通常の状態、UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド

米国経済は、トランプ政権の政策運営が引き続き相場の波乱要因になるとみています。通商政策が最大の鍵を握る状況に変わりはないと思われるものの、おおむね底堅い内需が米国経済を支えていると考えます。欧州経済は、ユーロ圏の製造業PMI（購買担当者景気指数）が高水準で推移した2018年と比較して、2019年は緩やかな成長にとどまると考えられます。EU（欧州連合）離脱の道筋やプロセスの定まらない英国では、政治的な不透明感が一段と強まっていることから、企業景況感に及ぼす影響を引き続き注視しています。

スイス経済は、おおむね底堅さを維持しています。スイス・フランの動向はスイスの企業収益の追い風となるものと思われ、今後もおおむね堅調な業績が見込まれます。また、企業景況感の改善や潤沢な手元資金を背景に、M&A（企業の合併・買収）の動きは継続すると予想されます。バリュエーション、企業業績、配当成長の観点から、引き続きスイス株式市場の投資魅力度は高いと考えます。今後、市場の悪材料に反応し短期的に調整する局面も想定されるものの、銘柄間のバリュエーション格差が依然として大きいことから、そうした調整局面は、長期的には魅力的な銘柄を組み入れる好機になると捉えています。引き続き、企業価値が株価に十分に反映されていない銘柄などに注目しながら、投資妙味の高い銘柄の組み入れに焦点を当てていく方針です。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第59期～第64期 (2018. 12. 18～2019. 6. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	37円	0. 657%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5, 616円です。
（投 信 会 社）	(12)	(0. 215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(24)	(0. 430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	37	0. 661	

（注 1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注 2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注 3）各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

（注 4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年12月18日から2019年 6月17日まで)

決 算 期	第 59 期 ～ 第 64 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	33,431.78355	1,887,309	92,188.42067	5,260,000

(注 1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注 2) 金額は受渡し代金。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年12月18日から2019年 6月17日まで)

第 59 期 ～ 第 64 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				UBS (CAY) SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND (ケイマン諸島)	92,188.42067	5,260,000	57

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1)当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2)ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年12月18日から2019年 6月17日まで)

決 算 期	第 59 期 ～ 第 64 期					
	買付額等 A	うち利 害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利 害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	40	40	100.0	—	—	—
コール・ローン	676,381	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフ
ンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3)当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 64 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) UBS (CAY) SWISS HIGH DIVIDEND EQUITY TWIN ALPHA FUND	427, 229, 1623	24, 220, 048	98. 9

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年 6 月17日現在

項 目	第 64 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	24, 220, 048	97. 1
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2, 994	0. 0
コール・ローン等、その他	716, 544	2. 9
投資信託財産総額	24, 939, 587	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第58期末	第 64 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2, 996	2, 996	2, 994

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年 1 月17日)、(2019年 2 月18日)、(2019年 3 月18日)、(2019年 4 月17日)、(2019年 5 月17日)、(2019年 6 月17日) 現在

項 目	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末
(A) 資産	28, 200, 697, 360円	27, 995, 854, 562円	28, 099, 580, 226円	27, 036, 317, 828円	25, 601, 828, 199円	24, 939, 587, 763円
コール・ローン等	809, 582, 298	955, 797, 431	709, 570, 758	761, 446, 446	592, 447, 598	716, 544, 717
投資信託受益証券 (評価額)	27, 388, 119, 256	27, 037, 061, 625	27, 387, 013, 962	26, 271, 876, 175	25, 006, 385, 694	24, 220, 048, 439
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド (評価額)	2, 995, 806	2, 995, 506	2, 995, 506	2, 995, 207	2, 994, 907	2, 994, 607
(B) 負債	501, 489, 049	461, 102, 895	340, 771, 439	346, 147, 958	290, 690, 095	457, 326, 524
未払収益分配金	374, 901, 253	372, 055, 843	195, 944, 200	185, 286, 960	181, 602, 781	173, 930, 999
未払解約金	95, 326, 965	56, 537, 799	115, 944, 490	130, 698, 129	79, 869, 595	254, 393, 733
未払信託報酬	31, 062, 527	32, 132, 566	28, 338, 689	29, 438, 322	28, 314, 534	27, 935, 833
その他未払費用	198, 304	376, 687	544, 060	724, 547	903, 185	1, 065, 959
(C) 純資産総額 (A－B)	27, 699, 208, 311	27, 534, 751, 667	27, 758, 808, 787	26, 690, 169, 870	25, 311, 138, 104	24, 482, 261, 239
元本	49, 986, 833, 738	49, 607, 445, 820	48, 986, 050, 002	46, 321, 740, 126	45, 400, 695, 419	43, 482, 749, 866
次期繰越損益金	△ 22, 287, 625, 427	△ 22, 072, 694, 153	△ 21, 227, 241, 215	△ 19, 631, 570, 256	△ 20, 089, 557, 315	△ 19, 000, 488, 627
(D) 受益権総口数	49, 986, 833, 738□	49, 607, 445, 820□	48, 986, 050, 002□	46, 321, 740, 126□	45, 400, 695, 419□	43, 482, 749, 866□
1万口当り基準価額 (C/D)	5, 541円	5, 551円	5, 667円	5, 762円	5, 575円	5, 630円

* 第58期末における元本額は50, 110, 063, 325円、当作成期間 (第59期～第64期) 中における追加設定元本額は2, 791, 904, 121円、同解約元本額は9, 419, 217, 580円です。

* 第64期末の計算口数当りの純資産額は5, 630円です。

* 第64期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は19, 000, 488, 627円です。

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

■損益の状況

	第59期 自2018年12月18日 第60期 自2019年1月18日	至2019年1月17日 至2019年2月18日	第61期 自2019年2月19日 第62期 自2019年3月19日	至2019年3月18日 至2019年4月17日	第63期 自2019年4月18日 第64期 自2019年5月18日	至2019年5月17日 至2019年6月17日
項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(A) 配当等収益	226,956,961円	289,268,556円	235,937,740円	252,832,329円	332,500,315円	520,910,769円
受取配当金	226,960,312	289,291,679	235,966,219	252,855,339	332,508,617	520,935,310
受取利息	4	64	152	275	5	190
支払利息	△ 3,355	△ 23,187	△ 28,631	△ 23,285	△ 8,307	△ 24,731
(B) 有価証券売買損益	△ 763,593,106	△ 158,278,704	△ 551,718,873	△ 403,563,347	△ 969,730,696	△ 79,016,741
売買益	11,989,610	158,831,646	561,008,224	411,869,133	20,769,279	11,305,126
売買損	△ 775,582,716	△ 552,942	△ 9,289,351	△ 8,305,786	△ 990,499,975	△ 90,321,867
(C) 信託報酬等	△ 31,281,674	△ 32,336,750	△ 28,506,062	△ 29,623,417	△ 28,513,995	△ 28,106,851
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 567,917,819	△ 415,210,510	△ 759,150,551	△ 626,772,259	△ 665,744,376	△ 413,787,177
(E) 前期繰越損益金	△ 11,716,166,625	△ 12,175,138,497	△ 11,703,940,248	△ 10,463,781,797	△ 9,796,849,251	△ 10,133,643,736
(F) 追加信託差損益金	△ 9,628,639,730	△ 9,940,710,323	△ 10,086,507,318	△ 9,609,273,758	△ 9,445,360,907	△ 9,106,701,069
(配当等相当額)	(1,003,714,352)	(820,377,593)	(708,824,677)	(670,923,551)	(658,066,356)	(632,623,641)
(売買損益相当額)	(△ 10,632,354,082)	(△ 10,761,087,916)	(△ 10,795,331,995)	(△ 10,280,197,309)	(△ 10,103,427,263)	(△ 9,739,324,710)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 21,912,724,174	△ 21,700,638,310	△ 21,031,297,015	△ 19,446,283,296	△ 19,907,954,534	△ 18,826,557,628
(H) 収益分配金	△ 374,901,253	△ 372,055,843	△ 195,944,200	△ 185,286,960	△ 181,602,781	△ 173,930,999
次期繰越損益金 (G + H)	△ 22,287,625,427	△ 22,072,694,153	△ 21,227,241,215	△ 19,631,570,256	△ 20,089,557,315	△ 19,000,488,627
追加信託差損益金	△ 9,807,865,718	△ 10,044,397,014	△ 10,086,507,318	△ 9,609,273,758	△ 9,445,360,907	△ 9,106,701,069
(配当等相当額)	(824,488,364)	(716,690,902)	(708,824,677)	(670,923,551)	(658,066,356)	(632,623,641)
(売買損益相当額)	(△ 10,632,354,082)	(△ 10,761,087,916)	(△ 10,795,331,995)	(△ 10,280,197,309)	(△ 10,103,427,263)	(△ 9,739,324,710)
分配準備積立金	—	—	31,455,817	85,678,691	206,134,859	515,120,241
繰越損益金	△ 12,479,759,709	△ 12,028,297,139	△ 11,172,189,714	△ 10,107,975,189	△ 10,850,331,267	△ 10,408,907,799

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
(a) 経費控除後の配当等収益	195,675,265円	268,369,152円	227,400,017円	241,421,206円	303,986,254円	492,803,712円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,003,714,352	820,377,593	708,824,677	670,923,551	658,066,356	632,623,641
(d) 分配準備積立金	0	0	0	29,544,445	83,751,386	196,247,528
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,199,389,617	1,088,746,745	936,224,694	941,889,202	1,045,803,996	1,321,674,881
(f) 分配金	374,901,253	372,055,843	195,944,200	185,286,960	181,602,781	173,930,999
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	824,488,364	716,690,902	740,280,494	756,602,242	864,201,215	1,147,743,882
(h) 受益権総口数	49,986,833,738口	49,607,445,820口	48,986,050,002口	46,321,740,126口	45,400,695,419口	43,482,749,866口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	75円	75円	40円	40円	40円	40円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

**UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・
ツイン・アルファ・ファンド**

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））の主要投資対象である、ケイマン籍の外国投資信託「UBS（CAY）スイス・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ツイン・アルファ・ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2019年6月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

財政状態計算書

2018年11月30日

資産

流動資産

金融資産（損益通算後の評価額）	¥ 29,320,167,904
現金および現金同等物	854,045,018
担保としてブローカーが保有する現金	16,589,081
未収：	
売却済み証券	5,989,753
資産合計	30,196,791,756

負債

流動負債

金融負債（損益通算後の評価額）	493,672,789
保管会社に対する支払	789,160
未払：	
運用会社報酬	124,421,865
専門家報酬	5,667,598
管理会社報酬	5,233,307
保管会社報酬	2,118,362
名義書換代理人報酬	832,346
受託会社報酬	747,609
その他負債	10,111
負債（償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）	633,493,147
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	¥ 29,563,298,609

包括利益計算書

2018年11月30日に終了した年度

収益

受取利息、配当収益、金融資産および負債の純実現損益・ 評価損益の純変動（損益通算および外国為替取引による評価額）	¥	166,795,170
---	---	-------------

費用

運用会社報酬		194,912,098
管理会社報酬		22,739,738
支払利息		11,507,474
取引費用		10,148,270
保管会社報酬		7,014,571
専門家報酬		5,466,872
名義書換代理人報酬		3,623,181
受託会社報酬		3,248,526
登録料		21,044
その他費用		9,871
費用合計		<u>258,691,645</u>

営業損益

(91,896,475)

金融費用

償却可能受益証券の保有者への分配		<u>(4,329,043,487)</u>
------------------	--	------------------------

分配後および税引前損益

(4,420,939,962)

源泉徴収税		(278,526,478)
-------	--	---------------

運用の結果生じた償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の増減額

¥	<u><u>(4,699,466,440)</u></u>
---	-------------------------------

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

投資明細
2018年11月30日

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合（％）	評価額
	普通株 (99.2%)		
	アイルランド (0.9%)		
	医薬品 (0.9%)		
22,249	COSMO Pharmaceuticals NV	0.9	¥ 261,649,752
	アイルランド合計		261,649,752
	スイス (98.3%)		
	広告 (1.9%)		
71,368	DKSH Holding AG	1.9	548,175,604
	銀行 (10.9%)		
8,062	Banque Cantonale Vaudoise	2.4	698,019,004
1,319,470	UBS Group AG*	6.8	2,023,214,323
39,080	Valiant Holding AG	1.7	490,222,353
			3,211,455,680
	化学 (8.5%)		
24,326	Daetwyler Holding AG	1.3	387,514,714
8,421	EMS-Chemie Holding AG	1.8	513,337,363
5,729	Givaudan SA	5.4	1,601,339,479
			2,502,191,556
	商業サービス (3.9%)		
4,340	SGS SA	3.9	1,166,739,635
	総合金融サービス (4.3%)		
95,600	Cembra Money Bank AG	3.0	904,298,095
41,982	GAM Holding AG	0.1	25,043,320
54,040	Vontobel Holding AG	1.2	352,756,362
			1,282,097,777
	電子部品 (0.7%)		
22,365	Burkhalter Holding AG	0.7	201,262,826
	食品 (9.8%)		
300,210	Nestle SA	9.8	2,904,211,775
	ヘルスケア製品 (5.1%)		
35,767	Lonza Group AG	4.4	1,312,260,454
11,144	Sonova Holding AG	0.7	204,305,263
			1,516,565,717
	保険 (12.1%)		
22,132	Swiss Life Holding AG	3.3	985,519,919
7,872	Swiss Re AG	0.3	81,627,225
70,090	Zurich Insurance Group AG	8.5	2,496,681,175
			3,563,828,319

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合（%）	評価額
	建設・採掘機械（5.2%）		
666,381	ABB, Ltd.	5.2	1,530,235,951
	金属製品（2.8%）		
38,515	SFS Group AG	1.5	423,837,138
33,404	VAT Group AG	1.3	393,212,859
			817,049,997
	医薬品（20.4%）		
27,175	Idorsia, Ltd.	0.2	58,635,954
287,627	Novartis AG	10.1	2,972,689,743
101,509	Roche Holding AG	10.1	2,988,418,690
			6,019,744,387
	不動産（0.4%）		
19,506	Investis Holding SA	0.4	131,650,995
	小売（5.5%）		
166,753	Cie Financiere Richemont SA	4.2	1,230,046,837
75,304	Galenica AG	1.3	397,184,840
			1,627,231,677
	通信（4.4%）		
146,600	Ascom Holding AG	0.8	242,529,643
19,632	Swisscom AG	3.6	1,069,156,931
			1,311,686,574
	運輸（2.4%）		
45,374	Kuehne + Nagel International AG	2.4	724,357,352
	スイス合計		29,058,485,822
	普通株合計（簿価 ¥27,548,223,646）		¥ 29,320,135,574

2018年11月30日現在のファンドレベルの外国為替先渡契約残高（純資産額の0.0%）

買い	取引相手	契約額	決済日	売り	契約額	評価益	評価（損）	純評価益（損）
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	28,928	12/07/2018	CHF	28,743	¥ 32,330	¥ (14,311)	¥ 18,019

2018年11月30日時点の売建オプション残高（純資産の－1.7%）

明細	行使価格	満期日	契約数	プレミアム	評価額
Call - OTC Swiss Franc versus Japanese Yen	¥ 113	12/21/2018	124,000,000	¥ (126,910,629)	¥ (175,553,385)
Call - SMI Index Option	8,907	12/21/2018	14,000	(240,748,058)	(318,105,093)
				¥ (367,658,687)	¥ (493,658,478)

* 利害関係人

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第64期の決算日（2019年6月17日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を19ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年12月18日から2019年6月17日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 40,000		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年6月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第7期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

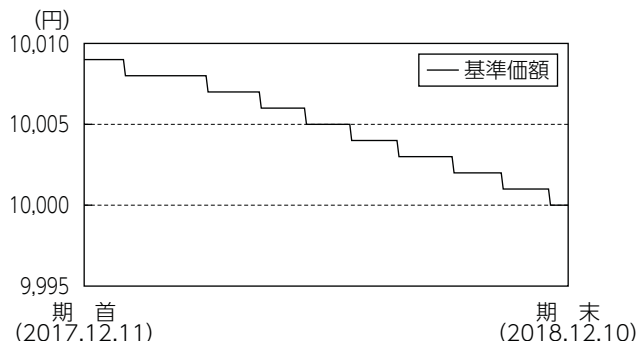
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比	
(期首)2017年12月11日	円 10,009	% -	% -
12月末	10,009	0.0	-
2018年1月末	10,008	△0.0	-
2月末	10,008	△0.0	0.5
3月末	10,007	△0.0	-
4月末	10,006	△0.0	-
5月末	10,005	△0.0	-
6月末	10,005	△0.0	-
7月末	10,004	△0.0	-
8月末	10,003	△0.1	-
9月末	10,002	△0.1	-
10月末	10,001	△0.1	-
11月末	10,000	△0.1	-
(期末)2018年12月10日	10,000	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,009円 期末：10,000円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用 (その他)	4 (4)
合 計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 180,001	千円 － (180,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
723 国庫短期証券 2018/3/5	90,000 千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	50,000		
731 国庫短期証券 2018/7/10	40,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	9,019,491	100.0
投資信託財産総額	9,019,491	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,019,491,424円
コール・ローン等	9,019,491,424
(B) 負債	745,957
その他未払費用	745,957
(C) 純資産総額(A－B)	9,018,745,467
元本	9,018,625,641
次期繰越損益金	119,826
(D) 受益権総口数	9,018,625,641口
1万口当り基準価額(C／D)	10,000円

* 期首における元本額は17,399,953,390円、当作成期間中における追加設定元本額は2,846,717,287円、同解約元本額は11,228,045,036円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり）999円、ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし）999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型）219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年2回決算型）24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型）848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型）66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり）6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし）10,288,683円、ダイワノバリュール・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド10,000円、ダイワノバ・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（年1回決算型）4,995円、ダイワノバ・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（年1回決算型）4,995円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ14,873,813円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver3－ 858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver6－ 2,475,152,803円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver7－ 828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver4－ 1,078,808,907円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11 Ver5－ 2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース1,605,380,447円、ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型）2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）為替ヘッジなしコース1,490,665円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）日本円コース497,633円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース994,307円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター（毎月分配型）通貨セレクト・コース397,742円、ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター（年2回決算型）為替ヘッジなし100,789円、ダイワノバ・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（毎月分配型）1,235円、ダイワノバ・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（毎月分配型）1,598円、通貨選択型 ダイワノバ・米国債券戦略ファンド 日本円コース（毎月分配型）1,544円、通貨選択型 ダイワノバ・米国債券戦略ファ

ンド 通貨セレクトコース（毎月分配型）1,984円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,977,479円
受取利息	2,652
支払利息	△ 5,980,131
(B) その他費用	△ 4,966,849
(C) 当期損益金(A＋B)	△10,944,328
(D) 前期繰越損益金	15,761,364
(E) 解約差損益金	△ 5,797,371
(F) 追加信託差損益金	1,100,161
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	119,826
次期繰越損益金(G)	119,826

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。